

福与区セーフコミュニティ（福与区）

福与区 SC の活動

◆平成27年10月18日(日):第1回福与区 SC 推進協議会発足

福与区セーフコミュニティ推進協議会発足

箕輪町は2012年4月、地域の全ての関係者・機関が連携し安全・安心に暮らせる町づくりを進める国際認証「セーフコミュニティ」の認証を世界保健機関(WHO)協働センターから受けました。これに伴い、町内でも推進協議会を設け、地域ごとの取り組みを推進する地区が増えています。

福与区では今年の10月18日、設立総会が福与公民館で開かれ、町内4区目の推進協議会を設立し会長に那須野悦福与区長を選出しました。総会では、規定の検討と承認、役員選出のほか、交通安全対策、くらしの安全対策、災害緊急時対策の3委員会の役員、課題の洗い出しなどを行いました。今後、協議会、委員会を通じて詳細な活動計画を打ち出し、町とも連携しながら、独自の安全・安心な地域づくりを進めていきます。

【平成27年度 役員の皆さん】

会長: 那須野悦

副会長: 田中邦英

事務局長: 白鳥彰政

事務委員: 米山徹、田中浩美、大矢和彦

・交通安全対策委員会: 9名

◎白鳥信蔵委員長、○山田政光副委員長、他

・くらしの安全対策委員会: 7名

◎白鳥彰政委員長、○浦野正敏副委員長、他

・災害等緊急時対策委員会: 6名

◎米山徹委員長、○田中真二副委員長、他

■合計22名

【敬称略】

那須野悦会長は、「現在、地区内には大きな課題はないが、福与区セーフコミュニティ推進協議会設立により、さらに安全・安心な地域づくりを進めたい」と意気込みを示しました。

また、各委員会の主な取り組みを以下に示します。

★交通安全対策委員会: 区民（特に幼児、児童生徒、高齢者）が交通事故に遭わないようにするための対策。

★くらしの安全対策委員会: 独居世帯への目配り、不審者による声かけ等への対策、生活上の不自由、不都合への対応。

★災害等緊急時対策委員会: 地震、風水害、雪災害等の自然災害及び緊急に対応を要する事態への対策、防災訓練。

今年度、期中に発足しました推進協議会ですが、今後、福与区民、地域のために活動していきたいと思っておりますので皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

福与区セーフコミュニティ推進協議会の現状と課題

福与区 SC 推進協議会

I これまでの経過（平成 27 年度）

1 立ち上げまで

- ・9/5(土)定例区会において区長より町 SC から依頼あり福与区 SC 推進協立上げが提案される。
- ・区会にて SC 推進協立ち上げ準備

①先進区を参考に福与区 SC 推進協議会規程案作成 ②組織・委員会構成案立案

- ・10/4(日)定例会に提案・検討、第 1 回推進協日程と内容検討、出席者への案内状作成発送

2 第 1 回福与区セーフコミュニティ推進協議会開催 27.10.18(日) *26 名出席

- ・区長挨拶「さらなる安心・安全な区を求めてセーフコミュニティを推進していきたい」
- ・福与区 SC 推進協議会規程案について協議、承認される。
- ・役員選出 会長－区長 事務局長－会計 *会長は区長又は区長経験者、事務局は会長指名
- ・委員会構成、構成メンバーの検討、承認、委嘱

① 交通安全対策委員会（高齢者安全対策含む） 9 名

② くらしの安全対策委員会 7 名

③ 災害等緊急時対策委員会 6 名

- ・町 SC 推進室、北小河内 KSC よりアドバイス
- ・各委員会別の協議 ① 正副委員長選出 ② 現状と課題の洗い出し
- ・全体協議 ①各委員会からの発表 ② 意見交換（出された意見－下記）
SC と区会との関係をどうするか。
各種団体代表者もメンバーに加えたい。 他

3 区民への広報

- ・12 月「福与区広報」にて福与区 SC 推進協議会発足について全区民へ広報する。

II 現状

- ・第 1 回推進協議会を受け構成メンバー所属の関係団体の立場で活動を続けている。
- ・第 2 回推進協議会（6 月開催予定）に向け本年度組織の見直し等進めている。

III 課題

・課題 1 SC に対する必要感の醸成と啓発

福与区は区民 100%が区会に入会し、関係団体等において SC にかかわる活動が機能していることもあり、組織化された SC 推進協への必要感や意識が今ひとつ切実でないところがある。

・課題 2 SC にかかわる現状分析と課題及び具体的取組の明確化

関係団体（区会、みまもり隊、学校・保育園、PTA、民生児童委員、日赤、消防団、老人会等）がそれぞれ抱えている問題を共有し福与区 SC として取り組む課題を決め出す。

・課題 3 本年度構成メンバーの確定

IV 今後の方向

- ・5/26(木)町 SC 推進協議会出席 *先進区の取組を参考に当区の課題や取組の方向性を探る。
- ・第 2 回福与区 SC 推進協議会開催 6 月中（予定）
本年度取組の重点の決め出し 他

◆平成28年5月30日(日):第1回福与区 SC 推進協議会役員会

◆平成28年6月24日(金):第1回福与区 SC 推進協議会

◆平成28年7月05日(火):第2回福与区 SC 推進協議会役員会

◆平成28年7月28日(木):福与区 SC 推進協議会総会

平成 28 年度 福与区 SC 推進協議会総会 開催

平成 28 年 7 月 28 日 (木) 午後 7 時から福与区公民館 大広間で福与区 SC 推進協議会総会が開催されました。本部役員 (事務局)、交通安全対策委員会、くらしの安全対策委員会、自主防災委員会の各委員のほか、箕輪町役場の関係者の方々、総勢約 60 名が集まり、福与区 SC 推進協議会規程、活動要綱、各委員会の活動計画などについて話し合い、参加者全員で福与区民の皆さまと一緒に SC を推進することを決めました。



【福与区 SC 推進協議会会長 那須野悦氏 挨拶】



【箕輪町役場総務課長 戸田勝利氏 挨拶】

★各委員会の委員長による平成 28 年度活動計画の説明



【交通安全対策委員会 委員長 宮澤雄二氏】

【平成 28 年度活動計画】

- 1 区内危険箇所の洗い出し
(アンケート実施とまとめ、結果の回覧)
- 2 町内で発生した死亡事故の回覧
(事故の実態周知と安全対策)



【くらしの安全対策委員会 委員長 浦野正敏氏】

【平成 28 年度活動計画】

- 1 日常生活において近隣の支援が必要な家庭の抽出と支援の仕組み作り



【自主防災委員会 委員長 中村明仁氏】

【平成 28 年度活動計画】

- 1 土砂災害ハザードマップの全戸配布と内容の周知
- 2 個人情報管理等他地区からの情報収集



【箕輪町 SC 推進協議会事務局長 向山静雄氏】

【講評】「福与区 SC には 3 回目の出席となるが、非常に進んでいると感じる、また活動要綱が示され分かりやすくなっている」

【平成28年度 役員の皆さん】

顧問: 白鳥信蔵

会長: 那須野悦

副会長: 田中邦英

事務局長: 白鳥彰政

事務委員: 米山徹、田中浩美、大矢和彦

・交通安全対策委員会: 18名

◎宮澤雄二委員長、○浦野崇副委員長、他

・くらしの安全対策委員会: 22名

◎浦野正敏委員長、○飯島清志副委員長、他

・自主防災委員会: 20名

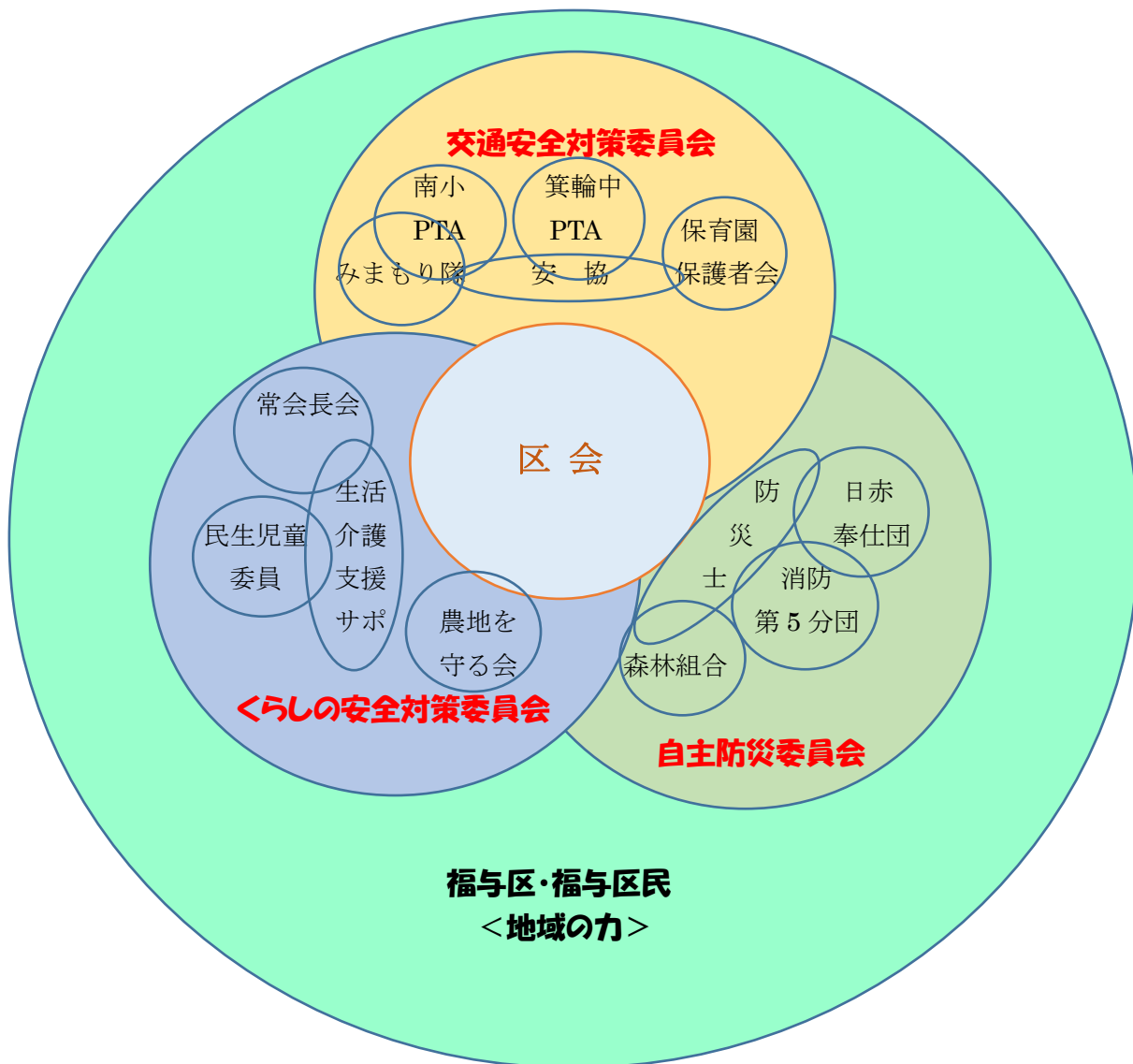
◎中村明仁委員長、○三浦一郎副委員長、他

■合計60名

【敬称略】

◆平成27年度の役員の人数は22名でしたが、平成28年度は区会議員、常会長、民生委員、福与森林組合、南小箕中のPTA関係者、防災士、生活・介護支援サポート、福与農地の守る会などの方々にも加わっていただき、合計60名で新たな体制を整え、福与SCを推進していきたいと考えております。

◆福与区 SC 推進協議会と福与区諸団体との関連イメージ図



伊那谷を一望する めくもいの里 福与

[第5次振興計画 福与区キャッチフレーズ]

平成28年度 福与区 SC 推進協議会 活動要綱

I 活動方針

福与区に関係する各種団体が、その枠を超え区が抱える諸課題に連携して取り組むことで、区民全員参加による「さらなる安心安全な福与区」をめざす。

II 本年度の目標

実質的に活動を開始する初年度であることから、区民の安心安全に関わる声を集約しながら活動を進めていくことを通して、福与区 SC について理解を深めていただくとともに、共に福与区をよくしていこうという意識が高まることを願う。

III 基本姿勢

- 委員の委嘱は行うが、基本的には本協議会の活動は委員のボランティア精神に基づいて進める。
* ボランティア活動の原則 ⇒ 自発性、無償性、利他性、先駆性
- 各委員会活動の推進に当たっては、欲張らず、1年間で実現可能な目標設定をし、成果が見えることで達成感を感じられるようにしたい。
- SCに関わる区内の諸課題の把握及び課題解決に当たっては、区民の声を大事に吸い上げるとともに、その結果や成果を区民に返していくよう心がける。
- 区民との日常的なコミュニケーション（挨拶、声かけ）を委員自ら心がけていきたい。

平成28年度 福与区 SC の各委員会の詳細な活動計画

◆交通安全対策委員会

本年度活動の重点：ヒヤリハットマップ作成前準備（危険個所の洗い出し）			
No.	現在の状況（課題）	目標（今年度目指すゴール）	Plan（具体的な実施事業）
1	個々では危険個所は分かっているが、区民全員での共有が必要。	危険個所の洗い出し及びアンケート結果の回覧。	ヒヤリハットマップ作成：危険個所の洗い出し。 1) 各戸のアンケート配布及び回収 2) 常会単位でまとめ 3) アンケート結果の回覧
2	高齢者の死亡事故が増加している。	高齢者が絡む事故の実態周知。	町内で発生した死亡事故の詳細を回覧する。

◆くらしの安全対策委員会

本年度活動の重点：日常生活において近隣の支援が必要な家庭の抽出と支援の仕組み作り			
No.	現在の状況（課題）	目標（今年度目指すゴール）	Plan（具体的な実施事業）
1	災害時要援護者に対する支援体制の仕組みは10年継続できているが、一方日常（平時）での明確な支援の仕組みがない。	支援の必要な家庭の抽出と具体的な支援内容の明確化。	1) 先進事例の学習 2) 委員会メンバーを中心に本年度目標を達成する

◆自主防災委員会

本年度活動の重点：土砂災害ハザードマップの全戸配布と内容の周知			
No.	現在の状況（課題）	目標（今年度目指すゴール）	Plan（具体的な実施事業）
1	福与区には土砂災害発生が懸念される場所（ハザードマップ）が、町より開示されているが、その存在や活用法に対する意識が低いと思われる。	ハザードマップの存在と活用法の周知を目指す。	ハザードマップの全戸配布と内容の周知。
2	災害発生時の人員把握を目的とした、常会毎の住民台帳の必要性の検討。	個人情報の管理など問題点の検討・把握。	他地区の情報収集。

◆平成28年10月24日(月):第3回福与区 SC 推進協議会役員会

平成28年度 福与区 SC の各委員会の詳細な経過報



【福与区 SC 推進協議会会長 那須野悦氏 挨拶】



【交通安全対策委員会 委員長 宮澤雄二氏 報告】



【くらしの安全対策委員会 委員長 浦野正敏氏 報告】



【自主防災委員会 委員長 中村明仁氏 報告】



【福与区 SC 推進協議会 事務局長 白鳥彰政氏 報告】

平成 28 年度 福与区 SC の各委員会の今後の予定

◆交通安全対策委員会

(危険個所の洗い出しについて)

10 月：全戸のアンケートを回収

11 月：常会単位でアンケートをまとめる

12 月～2017 年 1 月：アンケートの最終まとめ及び一覧表を作成する

2017 年 2 月：アンケート結果を回覧する

(高齢者が絡む事故の実態周知について)

9 月：町内の事故事例を町安協事務局に依頼した

◆くらしの安全対策委員会

(日常の支援希望内容の抽出について)

10 月：日常の支援希望者からのアンケートを回収

11 月：本委員会で今後の進め方を打ち合わせる

◆自主防災委員会

(土砂災害ハザードマップの全戸配布について)

11 月～2017 年 3 月：土砂災害ハザードマップを全戸配布し、区民全員が内容を周知する

内容周知の方法については、町役場の方に説明会を実施してもらおう等の方法を考える
福与区内の、緊急時連絡の体制作りは今後の課題とする。